

理事会 議事録

日 時：2000年10月7日(土) 12時00分～13時00分

場 所：群馬県総合教育センター701号室

出席者：尾崎，家，小山，柴田，大石，立松，紀伊，吉川，
有本，上野，沢，大谷，山岡，牧島，橋本 出席者15名
欠席者：なし

他に、千葉大学の松元亮治氏と原事務長が参加した。
議事に先立ち、署名人を選出した
議 長：尾崎洋二 署名人：柴田一成，大石雅寿

議事の経過及び結果

1. 前回（2000年7月8日）の理事会議事録が報告され、承認された。また、大石庶務理事より、10月4日に実務理事会が開催されたこと、学会事務室が国立天文台旧テープ保管庫に引越したことを、PASJの新しい印刷会社、販売委託への移行が順調に進んでいることが報告された。また、立松会計理事より、PASJのコピーエディター体制を強化するため1名増やしたことを、PASJへの投稿数が増えていることを考慮し、2000年度のPASJ総ページ数を400ページほど増やす措置を取ったことが報告された。
2. 2000年秋季年会について吉川年会実行委員長から報告があった。10月7日正午時点での年会登録者は632名である。講演数は431であり、その内訳は口頭発表（15分）が237、口頭3分+ポスターが160、ポスターのみが34である。講演キャンセルは2件、ポストデッドラインペーパーは1件であった。記者会見には7-8社の報道機関が参加した。懇親会参加者は190名ほどであった。保育室の利用も延べ5名ほどであった。今回は教育フォーラムや年会発表へのマスコミ取材も多かった。
3. 2001年春季年会の準備状況について千葉大学の松元亮治氏より報告があった。会期は2001年3月26-28日を予定し、記者会見と公開講演会は3月25日となる。ポスター会場の確保に努めている。保育室用の部屋の確保も進めている。また吉川年会実行委員長より、第2回ジュニアセッションと企画セッションも行なうことが報告された。会員からの要望として、座長の名前を表示すること、質問する際に名前・所属を述べて欲しいということが紹介され、座長名の表示については工夫することとなった。また、15分講演とポスタープレビュー講演を組み合わせた現在の形式は定着してきた感があるが、15分講演を10分講演にしてもっと数を聞きたいという声もあることが紹介され、年会実行委員会で検討することとなった。
4. 新正会員の名簿が大石庶務理事より示され、7名の新規入会と2名の準会員から正会員への移籍が承認された。
5. 未納会費を減らすための会費納入方法の改善について、立松会計理事が「督促手数料」を導入することを提案した。種々議論の後、理事会としては細則の改訂は必要ないとするが、会員の広範な考え方を考慮し、細則改訂をする案、しない案も含め、さらに検討を重ねることとなった。
6. 理事・監事の交代にあたり、新旧合同理事会を2001年1月13日に開催することが確認された。また、申し送り事項として、年会実行方法の改訂検討、プラネタリウムなど天文普及活動機関の支援案の検討、未納会費徴収策の検討、PASJに関連するUAPへの対応、が挙げられた。
7. その他

(1) 吉川年会実行委員長から、年会時の登録料免除対象者として、年会運営の負荷がかかる理事長、庶務理事、年会実行委員長、天文教育理事、年会開催地理事としたいこと等が提案され、了承された。

(2) インドネシアが開催を希望していたIAUアジア太平洋地域会議が開催できなくなったため、今回の同会議は日本が開催することとなる。これに備え、IAU記念基金の凍結を継続する方針が承認された。

(3) 立松会計理事より備品の貸し出しルールに関する素案が提示された。原則貸し出し禁止とするが、天文教育研究に関連し、学会業務に支障がない場合に理事の判断で貸し出しをしてもよいこととなった。例えばポスターボードの貸し出しの場合は、減価償却分を考慮して貸し出し料は1枚あたり1000円とすることとなった。

(4) PASJの表紙、電子投稿用スタイルファイルを次年度から改訂することが有本理事から報告された。

(5) 次回の理事会・評議員会の予定を以下のように決定した。

理事会：2001年1月13日(土)

評議員会：2001年1月27日(土)

議 長 尾崎洋二 印

署名人 柴田一成 印 署名人 大石雅寿 印